

おわりに

このプログラムの開発過程について最後に触れておきたいと思います。認知症高齢者のケア技法開発研究会は、2005年から2007年度にかけて、このプログラムの元となるプログラムを開発しました。そして、2008年度以後、社会福祉法人至誠学舎立川至誠ホームの2つの介護老人福祉施設で、そのプログラムを試用していただきながら、適合性や実用性、有用性をフィードバックしていただき研究会で改訂を重ねました。今回示したものは、2009年3月時点での最新版です。今後も実践経験を反映させながら改訂を続けます。次の改訂の参考とさせていただきますので、皆様のご使用の経験をお知らせいただけましたら幸いです。

2008年度の試用に際して、2つの介護老人福祉施設で計7人のモニタリング委員を選任していただき、フィードバックとともにプログラムの利用を促進していただきました。モニタリング委員は、高山裕将、宮本麻未、金井理紗、小阪亮(以上至誠特別養護老人ホーム)、山住圭、小西梨奈、川畑篤子(以上至誠キートスホーム)の各氏です。この場を借りて深くお礼申し上げます。

「お年寄りとあなたのための第一歩 —暴言・暴力、物盗られ妄想、うつの支援—」

2009年3月6日発行

作成者：認知症高齢者のケア技法開発研究会

井原一成、鈴木友理子、小島光洋、鈴木良美、吉上恵子、
鈴木篤、櫻井桃世、宮本智行、若林健太、大澤ゆき、柴元之、
福井雅美、實川勇治、橋本正明

連絡先：東邦大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野
東京都大田区大森西 5-21-16

*本パンフレットの無断転載を禁じます。